

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成26年12月25日(2014.12.25)

【公表番号】特表2014-500657(P2014-500657A)

【公表日】平成26年1月9日(2014.1.9)

【年通号数】公開・登録公報2014-001

【出願番号】特願2013-537621(P2013-537621)

【国際特許分類】

H 0 4 W 24/08 (2009.01)

H 0 4 W 88/02 (2009.01)

H 0 4 W 28/06 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 24/08

H 0 4 W 88/02 1 5 0

H 0 4 W 28/06

【手続補正書】

【提出日】平成26年11月10日(2014.11.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無線通信システムにおける端末が測定を実行する方法であって、
複数の周波数帯域のうち少なくとも一つの周波数帯域に対する測定の要請を基地局か
ら受信するステップと、

前記端末の性能に基づいて、前記少なくとも一つの周波数帯域に対して、圧縮モードを
適用するか否かを判定するステップと、

前記圧縮モードを適用する場合、前記少なくとも一つの周波数帯域に対して、圧縮モー
ドを適用して測定を実行するステップとを含み、

前記圧縮モードで該当周波数帯域に対して測定する場合、前記該当周波数帯域を介して
端末に対するデータ送受信が中断されることを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記圧縮モードを適用しない場合、前記少なくとも一つの周波数帯域に対して圧縮モー
ドを適用せずに測定を実行するステップをさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載の
方法。

【請求項 3】

前記測定の要請を受信するステップの以後に、前記複数の周波数帯域のうち少なくと
も一つが前記端末のために構成されたか否かを判定するステップと、

前記複数の周波数帯域のうち少なくとも一つが前記端末のために構成されない場合、
前記端末のために構成された周波数帯域の各々に対して圧縮モードを適用するステップと
、をさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記少なくとも一つの周波数帯域に対して、圧縮モードを適用して測定を実行するステ
ップは、

第 1 の周波数帯域が前記端末に構成された周波数帯域であり、第 2 の周波数帯域が測定
が実行される周波数帯域である場合、前記第 1 の周波数帯域と前記第 2 の周波数帯域のう

ち一つと関連する少なくとも一つのキャリアに対して、前記圧縮モードを適用することを特徴とする請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記複数の周波数帯域のうち少なくとも一つの周波数帯域に対する圧縮モードの適用可能性を基地局に報告するステップをさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

無線通信システムにおける測定を実行する端末であって、
複数の周波数帯域のうち少なくとも一つの周波数帯域に対する測定の要請を基地局から受信する送受信器と、

前記端末の性能に基づいて、前記少なくとも一つの周波数帯域に対して、圧縮モードを適用するか否かを判定し、前記圧縮モードを適用する場合、前記少なくとも一つの周波数帯域に対して、圧縮モードを適用して測定を実行する測定モジュールと、を含み、

前記圧縮モードで該当周波数帯域に対して測定する場合、前記該当周波数帯域を介して端末に対するデータ送受信が中断されることを特徴とする端末。

【請求項 7】

前記測定モジュールは、

前記圧縮モードを適用しない場合、前記少なくとも一つの周波数帯域に対して圧縮モードを適用せずに測定を実行するようにさらに構成されることを特徴とする請求項 6 に記載の端末。

【請求項 8】

前記測定モジュールは、

前記測定の要請を受信した以後に、前記複数の周波数帯域のうち少なくとも一つが前記端末のために構成されたか否かを判定し、前記複数の周波数帯域のうち少なくとも一つが前記端末のために構成されなかった場合、前記端末のために構成された周波数帯域の各々に対して圧縮モードを適用するようにさらに構成されることを特徴とする請求項 6 に記載の端末。

【請求項 9】

前記測定モジュールは、

第 1 の周波数帯域が前記端末に構成された周波数帯域であり、第 2 の周波数帯域が測定が実行される周波数帯域である場合、前記第 1 の周波数帯域と前記第 2 の周波数帯域のうち一つと関連する少なくとも一つのキャリアに対して、前記圧縮モードを適用することを特徴とする請求項 8 に記載の端末。

【請求項 10】

前記測定モジュールは、

前記複数の周波数帯域のうち少なくとも一つの周波数帯域に対する圧縮モードの適用可能性を基地局に報告するようにさらに構成されることを特徴とする請求項 6 に記載の端末。